令和４年度 小池中学校

糸半（いとはん）プロジェクト新聞

※糸半プロジェクトの名前には、小池中生が縦糸、地域の方々が横糸となって、お互いの力を出し合って、絆を深めたいという願いが込められています。

平成27年、燕市の「羽ばたけつばくろ応援事業」の採択を受け、生徒会本部が中心となり、「糸半プロジェクト」を立ち上げました。
「糸半プロジェクト」は、お世話になっている地域の方々への恩返しと、中学生にできることを考え行動し、小池中の良さを自分たちの姿で表現するという地域への発信とボランティア精神の向上を目的としたものです。
感染禍での活動も３年目となりました。地域の皆さんとの交流も少しずつできるようになってきました。地域の一員として、中学生の私たちにできることを構想しながら取り組んでいます。今年度の私たちの取組を糸半新聞にまとめ、地域に発信し、連携をより一層進めていきます。

令和４年度 企画活動テーマ

～私たちのまち「小池」の魅力発信～

これまで行ってきた地域貢献活動に加えて、次の２つの視点で新たな活動を創造しました。

地元企業とのコラボでベンチ制作

地域との共通テーマ「防災」と「福祉」
誰もが安心して住めるまちづくり

伝統の技と知恵が新たな業を生み出しているこの燕の象徴でもあるカトラリーをデザインしたベンチを作成しました。私たちのアイデアを地元の企業から形にしていただきました。
「防災」と「福祉」の視点から、私たちのまち「小池」が誰にとっても安心して住めるまちとなるように取り組んでいます。２年目となる「福祉」は認知症について取り組んでいます。

地域との共通テーマ「防災」

災害場面を想定した道徳　３年生

協力：ＮＰＯ法人ふるさと未来創造堂

令和二年から毎年三年生は、災害場面を想定した道徳の授業で考えを深めています。地域合同防災訓練などの実体験を生かして、過去の災害時に実際に起きた事例への対処について話し合っています。
「人としてどうあるべきか」「自分はどう行動できるのか」、みんなで意見を出し合い、議論し、納得解や新たな考えや手段を導き出す活動を行っています。

さすけなぶる

東日本大震災による避難所（ビッグパレットふくしま）で実際に起きた事例にどう対処するかを考えました。個の命と人権を守ることをルールとして議論しました。

糸半朝会

◆七月十二日（火）
講師…ツバメロジス株式会社
執行役員 管理本部
本部長　瀬戸　明 様
演題…「夢（目標）の実現にむけて
～出逢いを大切に～」

燕の企業の魅力を世界へと発信し、燕市の産業界の発展に寄与してこられた経験から御講話いただきました。目標実現にむけた手立てや、自ら人生を切り拓いていく上で大切にしたいことなどについて具体的に説明していただきました。

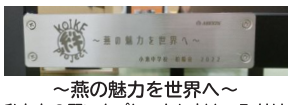
糸半講演会

◆十二月二十一日（水）
講師…株式会社 アベキン
取締役専務 阿部　正和 様
演題…「地域への熱い思い
～企業が果たす地域貢献活動～」

ベンチ完成を記念に、企業として取り組まれている地域貢献について御講演いただきました。
講演会に先立ち、生徒会本部が、これまでのベンチ制作にかかわる取組についてプレゼンテーションを行いました。

講演会の様子

生徒会によるプレゼンテーションの様子



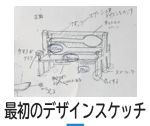
～燕の魅力を世界へ～
私たちの願いをプレートに刻んで取付け

完成したベンチ 春には交通公園に設置

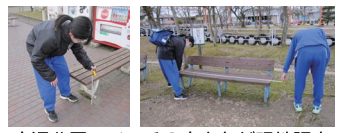
カトラリーをデザインに

地元企業とのコラボでベンチ制作

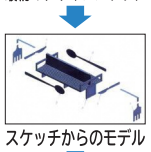
昨年度よりスタートしたプロジェクトは、燕の魅力を発信できるベンチを制作し、交通公園に設置するというものです。
株式会社アベキン様の御協力により、私たちの思いをすてきなベンチとして完成することができました。
ベンチを設置していただく交通公園で、私たちができることは何かを考えて、秋に清掃ボランティア活動を行いました。
春になったらベンチを交通公園に届けて設置します。



最初のデザインスケッチ



交通公園でベンチの高さなど現地調査



スケッチからのモデル

清掃ボランティア活動の様子

打合せを重ねて、最終デザインが決定

地域との共通テーマ「福祉」

糸半講演会

◆十一月十五日（火）
学区に住む
ベトナム人実習生の皆さんと交流
輝匠株式会社の皆様、ベトナム人協会
燕市地域振興課
演題…「おとなりさんは外国人
～多文化共生ってなんだろう～」

地域にある外国人共同宿舎「かがやき」にお住まいのベトナム人実習生をお迎えして交流しました。これからの国際社会を生き抜き、切り拓いていく上で大切にしたいことについて考える機会となりました。今後、挨拶運動など一緒にできる活動を相談していきます。

地域包括支援センターおおまがりの皆様よりコーディネートしていただき、福祉教育に取り組んでいます。二年目の今年度は、一年生が認知症サポーター養成講座、二年生が認知症にかかわって地域の方とワークショップを行いました。三年目の来年度は、三年生がこれまでの学びを発信する予定です。

一年生 認知症サポーター養成講座

燕市認知症地域支援推進員、燕市社会福祉協議会の皆様、講師の小林様よりお越しいただき、認知症サポーター養成講座を実施しました。正しい知識を学ぶとともに、認知症の方への理解と気持ちに寄り添う接し方について活発に話し合い考えました。

二年生 地域の方とのワークショップ

昨年学んだ認知症サポーター養成講座をベースに、認知症の方やその家族のお話を伺い、地域の一員として自分たちに何ができるかを考えました。地域の支え合い活動推進委員の皆さんとグループワークを行い、地域での活動を紹介していただきながら話し合いました。

災害場面を想定した道徳　全校道徳（２年目）

協力：ＮＰＯ法人ふるさと未来創造堂

防災クロスロード

今年も防災クロスロードを全校で行いました。災害時の様々な場面とそのときの立場を想定した二者択一の選択から、自分はどう行動するかを考え、全校で話し合いました。各班一台のクロームブックを使用して、それぞれの班の意見をステージ上のスクリーンに集約しながら、その判断と理由について共有し、考えを深めました。

YES or NO カードで個人の意思を表示、どうしても決められない場合は、その他として自分の考えを発表

↓

班で話し合い、意見をまとめてクロームブックで送信

↓

各班の判断と理由を全校で共有

こんな場面について考えました
その時の立場は、【市の職員】
避難所で生活はしていないが、毎日家族の分も含めて食事をもらいに来る家族がいる。スーパーやコンビニはまだ再開していない。今日は避難所に避難している人数分しか食料がない。
渡せないことを伝えて、あきらめてもらう？
YES ・ NO ・ その他

10/1（土） 地域合同防災訓練

平成28年スタート　７年目の取組

小池中学校では３年間を通して、災害時に必要とされる様々な資質や能力を身に付けるために防災学習に取り組んでいます
１年生…災害弱者の避難支援
２年生…救急法講習
３年生…さすけなぶる、避難所運営ゲームHUG

今年度も感染禍のため、いっとき避難所までの避難訓練となりましたが、中学生も町内ごとの役割に従い、地域の一員として活躍しています。十月一日は全校で防災について取り組みました。

地域貢献活動紹介

クリスマスリースプレゼント
総合文化部で毎年制作しています。今年もお世話になった皆さんに届けました。

押し花 しおり＆コースタープレゼント
整美委員会では、植え替えで出た古い花を押し花にしました。しおりやコースターを作成して、お世話になった方にプレゼントしました。

地域クリーン作戦
春と秋のクリーンデー燕に、多くの生徒が参加しました。

藤の実もぎ作業
県指定天然記念物である八王寺の白藤の保全活動を地域の方と一緒に行いました。

今年度の成果
昨年度からスタートした企業とのコラボレーションは、「燕の魅力を世界へ」という私たちの思いを表現したすてきなベンチを完成させることができました。また、防災と福祉（認知症）について、地域の方と一緒に活動し、中学生として何ができるかを考えることができました。

燕市立小池中学校
〒959-1265
新潟県燕市道金1095-1
ご意見、ご感想等は
jh-koike@g.tsubame-city.ed.jp